

みずほCustomer Desk Report 2019/03/05 号(As of 2019/03/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.01
TKY 9:00AM	111.93	1.1375	127.32	1.3235	0.7099
SYD-NY High	112.01	1.1390	127.37	1.3271	0.7118
SYD-NY Low	111.64	1.1309	126.46	1.3167	0.7076
NY 5:00 PM	111.75	1.1340	126.71	1.3183	0.7092
NY DOW	25,819.65	▲ 206.67	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	7,577.57	▲ 17.79	日本10年債	0.0000	2.00bp
S&P	2,792.81	▲ 10.88	米国2年債	2.5405	▲ 1.52bp
日経平均	21,822.04	219.35	米国5年債	2.5285	▲ 3.20bp
TOPIX	1,627.59	11.87	米国10年債	2.7232	▲ 3.44bp
シカゴ日経先物	21,685.00	▲ 75.00	独10年債	0.1625	▲ 1.95bp
ロンドンFT	7,134.39	27.66	英10年債	1.2725	▲ 2.15bp
DAX	11,592.66	▲ 9.02	豪10年債	2.1840	4.05bp
ハンセン指数	28,959.59	147.42	USDJPY 1M Vol	5.70	0.39%
上海総合	3,027.58	33.57	USDJPY 3M Vol	6.04	0.08%
NY金	1,287.50	▲ 11.70	USDJPY 6M Vol	6.70	0.00%
WTI	56.59	0.79	USDJPY 1M 25RR	-0.84	Yen Call Over
CRB指数	181.09	▲ 0.40	EURJPY 3M Vol	6.85	0.11%
ドルインデックス	96.65	0.12	EURJPY 6M Vol	7.52	0.06%

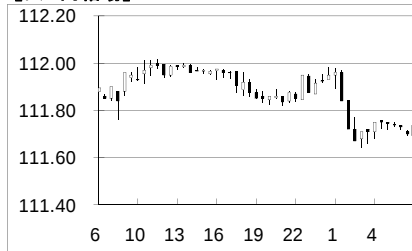
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月4日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 0.4%/3.0%	0.3%/2.9%
3月5日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 -0.6%	0.1%

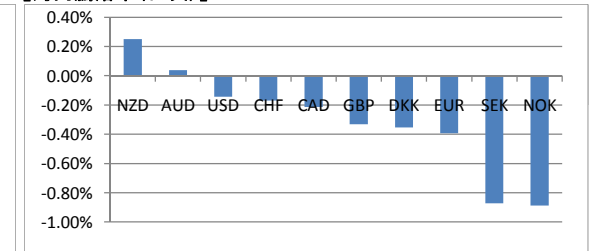
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月5日	-	中 中国全人代 開幕	-	-
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	- 1.5%	1.5%
	18:00	欧 マークイットユーロ圏サービス業PMI	2月 52.3	52.3
	22:00	米 ローゼンゲン米ボストン地区連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 カシカリ米ミネアポリス地区連銀総裁 講演	-	-
	23:45	米 マークイット米国サービス業PMI	2月 56.2	56.2
3月6日	00:00	米 ISM非製造業指数	2月 57.4	56.7
	00:00	米 新築住宅販売件数	12月 600K	657K
	1:30	米 パーキン米リッチモンド地区連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.20	1.130000-1.1400	126.30-127.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は上値重い展開となった。米株式市場に調整の動きが強まり、NYダウが一時400ドル超下落すると、リスク回避が進行し、ドル円は112円台を回復できず、一時111.66レベルまで反落した。本日のドル円は材料難の中で、方向感無く推移すると予想。今週は米ISM非製造業指数や米雇用統計等が予定されており、中国では本日から全国人民代表大会が始まり、重要イベントを控えて新規材料待ちの中、ドル円は111円台で方向感無く推移しそうだ。

東京	東京時間のドル円は111.93レベルでスタート。米中通商協議が合意に近いと伝わり、リスク選好に伴う円売りが優勢となり、ドル円は112.01まで上昇。その後は112円付近で揉み合ったものの、週末のトランプ大統領「ドルは強すぎる」発言や、利益確定の売りに押されて112円台では定着できず、111.98で海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.97レベルでオープン。米中貿易協議への期待感が高まる中、高値圏を維持したドル円だが、特段新しい材料もなかった中で111.82-97の狭いレンジで推移し111.95レベルでNYに渡った。ボンドドルは、1.3234レベルでオープン。朝方発表の英2月建設業PMIが予想を下回り50割れとなったが反応はなし。ただ、その辺りにつけていた1.3253を高値にするずと値を下げだすと一時1.32台を割り1.3181まで下落。その後少し戻して1.3204レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は週末のトランプ米大統領の講演内容(他国とのビジネスへ影響を及ぼす程のドル高は望んでいない)には反応薄で、112円手前でもみあい。関係者の話として「米中通商合意が近い」と伝わる中、一時112.01まで上昇するが、節目付近での利益確定売りに圧迫され、111.82まで反落し、111.95レベルでNYオープン。主要な米経済指標が予定されていない中、朝方はユーロ円の下落や、高寄りしたタウ平均がマフィス圏に沈み、300ドル超下落する動きに連れ安となり、111.64まで下落。午後は米株が下げ止まる中、ドル円は111.75まで戻す。手掛り材料に欠ける中、終盤は動意薄の展開となり、111.75レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、今週7日にECB理事会を控えて、様子見ムードが強いためか、上値重い展開。欧州時間に入るとユーロ円の売りに押されて一時1.1328まで下落。その後、小幅値を戻し、1.1335レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、クロス円の下落に連れて1.1309まで下落する場面も見られたが、その後、米金利の低下にドル売りが進んだことや、ユーロ円が下げ止まったことを受けて、1.1335まで反発。その後は手掛り材料が乏しい中、小動きとなり1.1340レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・田家